

クロアチア情勢

主な出来事

2015年8月

内政

- 2日、ピエシュチャニツァ(当国中部)において、NGO「ドクメンタ」およびセルビア民族評議会(S NV)共催により、20年前にクロアチア軍・警察部隊により実行された「嵐」作戦の犠牲となったセルビア人犠牲者を悼む追悼式典開催。
- 2日、クロアチア議会が定めた「ロマ・ホロコースト追悼日」を記念し、ヤセノバツ強制収容所跡地内ロマ人墓地でロマ人犠牲者追悼式典開催。
- 4-5日、「嵐」作戦による紛争終結20周年を記念し、ザグレブにて軍事パレード(4日)、クニン(当国中部)にて「勝利と祖国感謝の日」(祝日)の記念式典開催(5日)。5日には、改装されたクニン要塞内に「嵐」作戦を紹介する新しい博物館が開館。
- 6日、退役軍人省は、同日未明にブコバル市の民家に掲揚されていたクロアチア国旗が何者かに燃やされる事件を受けて、右行為を強く非難する声明を発表。犯人は捜査中であるとした。
- 7日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、スプリト(当国南部、第2の都市)に臨時大統領事務所を開設(大統領は同地に10日間滞在)。右は、クロアチアの地方分権化、地方活性化に向けた貢献であるとしている。
- 14日、ムラク＝タリタシュ建設・都市計画相は、昨年(2014年)クロアチア東部サバ川流域で発生した洪水で被災したジュパニヤ地域における被災住宅の90%が再建・修復された旨発表。
- 16日、クロアチアの持続的成長党(ORaH)は、次回議会選挙における同党の選挙綱領を発表。財政改革から行政改革、地域の再編成、司法改革等を含む18項目の方策が盛り込まれた。
- 17日、ブコバル市議会は、同市内の公共機関・施設等における少数民族言語・文字の公的使用に関する同市条例改正案を賛成多数で採択。右改正案では、クロアチア語(ラテン文字)およびセルビア語(キリル文字)による二重言語表記を義務づける規則が制定されなかったため、同市条例下においては、同市は二重言語表記を行わない。
- 17日、ヨシポビッチ・「クロアチアの前進－進歩同盟」党首(前大統領)およびチャチッチ・「人民党－リフォーミスト」党首(前第一副首相兼経済相、人民党(HNS)前党首)は、次回議会選挙に向けた連立(「クロアチアの成功」)合意に署名。
- 23日、欧州全体における全体主義・独裁主義体制の犠牲者追悼記念日に際し、レコ議会議長、マティッチ退役軍人相およびチチャク大統領特使は、「ドトルシュチナ」および「グラチャニーバニャルカ」追悼記念公園における追悼式典に出席。また同日、ゴリ・オトク島およびスベティ・グルグル

島において、シェクス大統領特使が献花し、旧ユーゴ時代の同島強制収容所での犠牲者を追悼した。

●26日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、大統領府において第2回経済評議会を実施。

●26日、ザグレブ県裁判所は、サナデル元首相弁護人による保釈措置の申し立てを却下。

●26日、緑の党および「緑の連合－緑」は、次回議会選挙における連立「緑の連合」合意に署名。

●27日、ザゴリエ党(ZS)幹部会は、次回議会選挙における社会民主党(SDP)を中心とした中道左派連合に参加することを表明。

外交

●5日、外務・欧州問題省は、ISIL傘下とされる武装集団「シナイ州」が、7月22日にカイロにおいて誘拐したクロアチア国籍男性(トミスラブ・サロペク氏)の殺害を予告するビデオ映像を公開したことを受けて、人質救出に向けた声明を公表。プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相はエジプト外相と連絡を取り、同外相との合意に基づいてカイロ入りする予定を発表。7日、プシッチ大臣およびシュクリ・エジプト外相はカイロで会談した。

●6日、外務・欧州問題省は、5日にベオグラードのクロアチア大使館前でクロアチア国旗を燃やした民衆および「嵐」作戦20周年に関するニコリッチ・セルビア大統領発言への抗議文を在クロアチア・セルビア大使館に送付。他方、セルビア外務省は、在セルビア・クロアチア大使館宛に、5日の「嵐」作戦20周年記念行事の際に行われたセルビアに対するヘイト・スピーチへの抗議文を送付。

●7日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、当地訪問中のハマド前カタール首長とシベニク(当国南部)にて会談。

●12日、ISIL傘下の武装集団「シナイ州」は、エジプトで誘拐されたクロアチア人男性トミスラブ・サロペク氏とみられる斬首遺体写真をインターネット上に公開。同写真にはクロアチアの対ISIL有志連合への参加を非難するアラビア語のテロップが映し出されていた。同日夕、ミラノビッチ首相は臨時記者会見を開き、公開された写真が真実であることは確認できていない旨述べた。翌13日、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相は、リエカ(当国西部)において会見を開き、同事案に関する新たな情報を公表。サロペク氏誘拐・殺害には、2つのグループが関与していたと見られること、および同氏が勤務していた仏企業に対し、身代金要求がなされていたことに言及。

●27日、ミラノビッチ首相、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相およびブルドリャク経済相は、「西バルカン会議」出席のため、ウィーンを訪問。

●28日、EUがギリシャで展開している海上監視ミッション「ポセイドン作戦」に参加するクロアチア警察警備船がスプリトを出航。

●30日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、喫アルフバツハで開催された「アルフバツハ欧州フォーラム」に出席。同フォーラムの席で、パホル・スロベニア大統領およびフィッシャー喫大統領と非公式会談を実施。

●30日、ミラノビッチ首相は、地中海におけるEUの海上監視ミッション「トリトン作戦」に参加しているクロアチア海軍艦艇「アンドリヤ・モホロビッチ」を視察。

●31日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、スロベニアのブレッドで開催された「ブレッド戦略フォーラム」に参加。パホル・スロベニア大統領と共同署名した「南東欧地域の非EU加盟国の改革プロセスを支援するためのEUサミット開催」を要請する書簡を、同フォーラムに出席していたトウスク欧州理事会議長に手交した。

●31－9月3日、レコ議会議長は、ニューヨークの国連本部において開催された「第4回世界議会議長会議」出席のため訪米。ニュージャージー州のクロアチア人コミュニティ代表らとの意見交換（8月31日）および議長会議に際して、インドネシア、イラン、アルバニアの議会議長・副議長と会談（9月3日）。

経済

●1日、信用格付企業フィッチは、クロアチアのソブリン格付けを公表。外貨建て発行体は「BB」、自国通貨建てを「BB+」とそれぞれ据え置いた（いずれも投機的等級）が、見通しについては公的債務残高対GDP比が2015年には2008年の2倍以上となる90%に達する恐れがあるとして、「安定」から「ネガティブ」へ改定した。

●6日、クロアチア経済会議所は、4月末時点での対外債務残高を発表。前年同期比8.7%増の498億ユーロ（対GDP比115%）に達した。クロアチアの対外債務は昨年末時点で対GDP比108.4%（以下同ベースでスロベニア：126.7%、ハンガリー：115%、ルーマニア：62.9%、チェコ：66.6%、ポーランド：70.5%、スロバキア：90.1%、ブルガリア94.7%）であった。

●28日、クロアチア統計局は2015年4－6月期の実質GDP成長率速報値を公表した。今年第2四半期は対前年比で1.2%となり、三四半期連続のプラス成長となった。右成長の主な要因は、家計最終消費支出及の伸びおよび財・サービスの輸出増による。

主要経済指標

（2015年月次データ，対前年同期比（除く失業率），政府統計局発表）

輸出総額 （6月）	輸入総額 （6月）	貿易赤字 （6月）	工業生産高 （7月）	インフレ率 （7月）	失業率（登録制） （7月）
+12.3% （420億クーナ， 55.0億ユーロ）	+6.3% （689億クーナ， 90.2億ユーロ）	-1.9% （269億クーナ， 35.3億ユーロ）	+3.9% （6月：1.6%）	-0.4% （6月：0.1%）	15.9% （6月：16.1%）

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたもので、記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。